

# 令和6年度在宅医療・介護連携推進事業 取り組み計画について

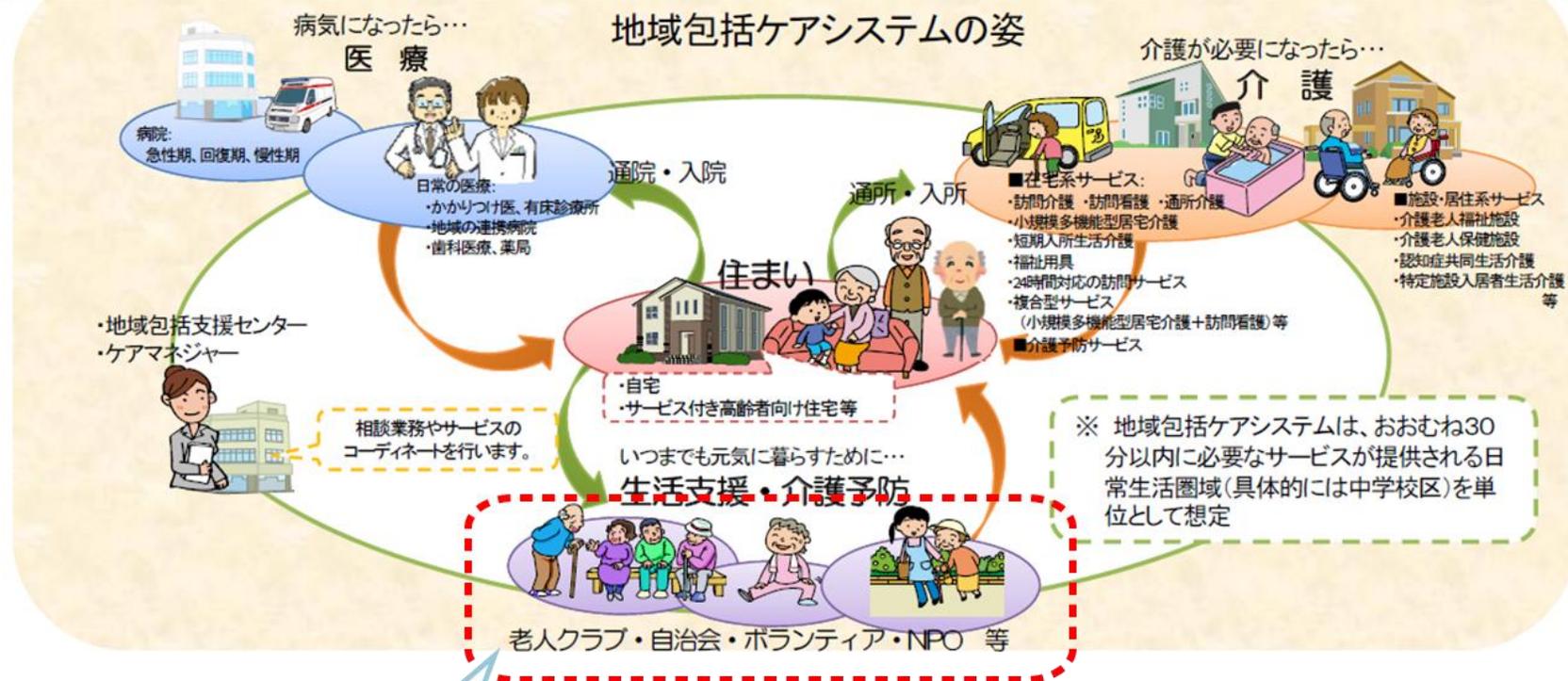
令和6年 在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会

いちき串木野市医師会

コーディネーター 南新 敦子

令和7年3月18日

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



- ・地域の多様な主体による多様な支援がある
- ・社会参加で生きがいを持ち介護予防につながる

**生活支援  
体制整備事業**

## 在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。
- （※）在宅療養を支える関係機関の例
  - ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
  - ・病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
  - ・訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
  - ・介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



# 在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで  
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

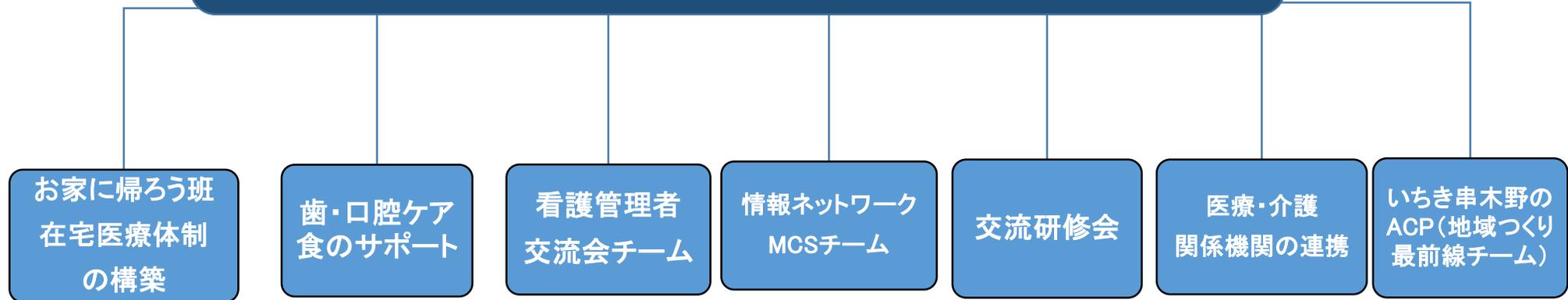
地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

# 令和1年度～ 事業運営体制

## 事業推進連絡協議会

### 推進チーム連絡会



- 医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 消防 ・ 看護師 ・ 管理栄養士 ・ 作業療法士  
・ 理学療法士 ・ 言語聴覚士 ・ 社会福祉士 ・ 介護支援専門員 ・ 介護福祉士  
・ 地域包括支援センター ・ 福祉課 ・ 事務職 等 総数41名の多職種で構成しています

# 令和6年度～ 推進チーム活動計画表

推進チーム	推進チーム活動実施項目	在宅医療場面
①歯・口腔ケア・食のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア、摂食嚥下・栄養についての研修会の開催</li> <li>・ひっかけん体操DVD活用の周知、並びに地域への広報活動</li> <li>・お口のチェックシート活用状況調査並びに内容修正、活用についての検討</li> </ul> 【予算計画】 ひっかけん体操DVD作成 ミーティング実施及び研修会開催に関する経費等	日常の療養支援
②看護管理者の集まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な看護師長会・交流会の開催</li> </ul> 【内容】 多職種交流会 管理者としてのマネジメント力向上 退院支援のスムーズな連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門講師による講演会・研修会に実施</li> </ul> 【予算計画】 ミーティング実施・講演会講師依頼 研修会に関する経費など	日常の療養支援 入退院支援 急変時の対応
③MCS推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未登録者施設へのアプローチ</li> <li>・利用促進のための説明会・事例検討会・ユーザー会ニュースレター・MCSTip'sの配信</li> <li>・医療・介護職のITリテラシーが高まる情報発信</li> <li>・退職者や利用中止患者グループ退会処理等の対応</li> </ul> 【予算計画】 ユーザー会開催等の講師謝金・研修費用 ミーティング実施	入退院支援 日常の療養支援 看取り支援
④交流研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の交流会企画開催について、他推進チームと協力し進めて行く</li> </ul> 【予算計画】 ミーティング実施・交流会開催経費	日常の療養支援 入退院支援
⑤医療・介護関係機関の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護の連携に関わる交流会の開催</li> <li>・退院支援ルールの円滑な利用に向けた多職種研修会の実施</li> <li>・(地域医療機関と介護機関が温度差なく、退院支援ルールのツールを活用し退院支援につなげる)</li> </ul> 【予算計画】 ミーティング実施	日常の療養支援 入退院支援 看取り支援
⑥いちき串木野版ACP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACPやエンディングノートの浸透に関する啓蒙活動</li> <li>・在宅医療・在宅ケア・在宅見取り・ACPに関する地域住民へ向けたチラシの作成</li> <li>・看取りに関するパンフレット作成に向けての協議</li> <li>・ACPについての人材育成のための研修会参加</li> </ul> 【予算計画】 ミーティング実施 心づもりノート作成	日常の療養支援 看取り支援
⑦お家に帰ろう班	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちき串木野市独自の看取りのパンフレットの作成を検討する(ACPチームと協力)</li> <li>・看取り支援グループの会議開催の検討</li> </ul>	急変時の対応 看取り支援 日常の療養支援

# 推進チームリーダーミーティング

R6年6月6日 実施

- ・今年度、第1回の推進チームリーダーミーティングを開催  
今年度各チームの取り組みについて話し合いを行っています
- ・今年度もチーム全体で多職種の交流会を進めて行くこととしています。
- ・今年度は、歯・口腔・食のサポートに重点を置き、口腔、嚥下、栄養に関する研修会や、連携する職種との交流会を進めて行くことが話し合われました。  
「ひっかけん体操」DVDの活用を広げていく為に地域介護施設、専門職に向けた講話、研修会の開催  
口腔ケア体制整備所業と協力した口腔ケア連携体制に関する研修会等の実施及びそれに向けたミーティング(検討会)  
歯科に関わる連携について地域の歯科衛生士さんと繋がりを持てるような交流会を行い良好な関係性を構築する
- ・医療連携室:MSWとケアマネージャとの交流会
- ・MCSに関する交流会として外来看護師・ケアマネ・訪問看護師・連携室との交流会
- ・歯科衛生士・栄養士の交流会
- ・地域リハ職の交流会



## 令和6年度 事業活動実施項目

活動項目		実施日	内容
協議会	推進事業連絡協議会	R6.8.23 R7.3.18	各推進チームのリーダーと今年度の活動推進に向けた協議並びにアクションプランについての情報共有 交流会開催についての協議 第2回会議開催 今年度取り組みについての報告、並びに次年度に向けた提案
チーム ミーティング	推進チームリーダーミーティング	R6.6.6	第1回推進事業連絡協議会 今年度の取り組み計画推進に向けた協議
	歯・口腔・食のサポートチーム	R6.7.9 9.3 10.22 R7.1.24 R7.3.25 (予定)	今年度活動計画について・口腔ケア研修会開催についての協議 研修会開催テーマ・内容等について・ひっかけん体操DVD配布について 口腔ケア研修会最終打ち合わせ・準備、役割、タイムスケジュールの確認 口腔ケア研修会の振り返り・ひっかけん体操DVD配布方法について 次年度に向けた計画、アクションプラン
	看護管理者集まりチーム	R6.7.9 12.10	看護師交流会開催に向けた協議:交流会テーマ、内容 日程等について 交流会実施の振り返り、今後の取り組みについて協議する
	ACPチームミーティング	R6.9.12 R7.1.16 2.17	ACPチラシ活用並びに広報について協議を行う ACPチラシ活用に向けた研修会開催について、「私の希望表明」シート内容検討 看護管理者の集まりチームから3名参加し、「私の希望表明」シートの掲載内容について 合同で協議を行った ASP研修会打合せ、準備、役割確認
	MCS推進チーム	R6.8.13 9.27	MCS活用拡大に向けた協議・MCS懇親会開催:内容、テーマ、準備 MCS懇親会開催に向けた打合せ
	交流会チーム 医療と介護連携チーム	R6.6.28	リハ役職交流会開催について準備・打ち合わせ、内容確認

## 令和6年度 事業活動実施項目

活動項目		実施日	内容
研修会	MCS懇談会	R6.11.12	MCS利用について説明・情報共有 説明者:MCS推進チーム員 畑中勇二氏
	BCP研修会	R6.11.22	<b>講演:感染対策×ゲーミフィケーション体験会</b> 「感染クラスター8」をチームで体験することで、感染対策に焦点を当てつつ、BCP全般にわたる基本的な知識や対応策を学ぶ
	口腔ケア研修会	R6.12.13	<b>摂食嚥下・口腔ケア研修会</b> 講演:「摂食嚥下について知ってほしいこと」講師:言語聴覚士 尾崎幸平氏 「歯科口腔について知ってほしいこと」講師:歯科医師 江藤克己先生
	ACP研修会	R7.2.21	<b>ACP研修会</b> ACPチラシについての紹介・チラシの活用法を提案し、実際の体験からACPの大切さを知る ACPについて疑似的に体験することで、様々な場面での活用を学ぶ
多職種交流会	リハビリ役職者ミーティング	R6.7.4	講話:「いちき串木野市におけるリハ職のこれまでの地域活動とこれからの期待する事」 講師:長寿介護課保健師 中袴田洋絵氏 グループワーク:今いちき串木野市の医療・介護に必要な事・・・ それについて行動できること・・・を考える
	地域医療機関看護師交流会	R6.9.13	<b>交流会:グループワーク</b> “横の繋がりを作っていく為に自分達に何が出来るか・・・ 自分たちが実行できることを共有する
	看護管理者懇談会	R7.1.18	

# 1) 在宅医療の体制を整備する

## いちき串木野 訪問診療の医療機関(R6年4月調査)

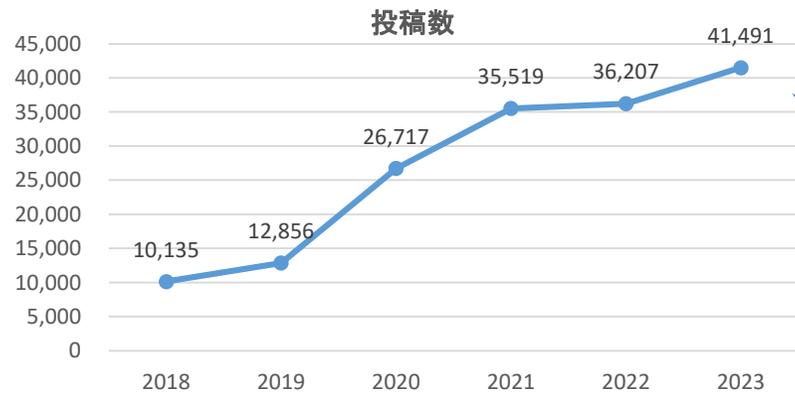
医療機関名	往診対応	訪問診療対応
花牟禮病院	○	○(応相談)月・火PM
丸田病院	○	○(応相談)
えんでん内科クリニック		○(応相談)
新山内科医院	○	
市来内科	○	○(応相談)
藤井クリニック	○	
ふじいクリニック串木野	○	
ふくもと整形外科内科クリニック	○	
京町内科脳神経クリニック	○	○(応相談)
春田クリニック	○	
串木野内科・循環器科	○	○(応相談)
金子病院	○	○(応相談)
さゆりクリニック	○	
野辺ひふ科クリニック	○	
牧野医院	○	○(応相談)
宮ノ原循環器内科		○(応相談)
リミ眼科	○	

# 【いちき串木野市の在宅訪問サービス】(R6年4月状況)

サービス内容	施設名	所在地	利用する保険
訪問看護ステーション	「さくら」	いちき串木野市生福(脳神経外科センター)	医療保険・介護保険
	「こじか」	いちき串木野市湊町	医療保険・介護保険
	「きなり」	いちき串木野市春日町	医療保険・介護保険
	「ほがらか」	いちき串木野市大里(市来内科・ひふ科)	医療保険・介護保険
訪問リハビリ	えんでん内科	いちき串木野市東塩田町	介護保険
	春田クリニック	いちき串木野市春日町	介護保険
	丸田病院	いちき串木野市旭町	介護保険
	花牟禮病院	いちき串木野市元町	介護保険
	ライフハーバーいちき	いちき串木野市大里	介護保険
	宮之原循環器内科	いちき串木野市春日町	介護保険
	市来ヘルパー	いちき串木野市 湊町	介護保険

# いちき串木野市MCS（メディカルケアステーション）運用状況

西暦	登録施設数	登録患者数	アカウント取得者数(職種別)													小計
			医師	歯科医師	薬剤師	看護師	リハPTOTST	栄養士	介護支援専門員	社会福祉士	介護福祉士	介護士	歯科衛生士	事務職	その他	
2017年	30	65	23	2	2	44	7	2	23	2	2	3	1	13	5	129
2018年	42	131	26	2	7	63	16	2	28	3	4	4	1	17	9	182
2019年	52	195	27	2	7	61	24	2	29	4	6	4	1	15	17	199
2020年	52	209	26	2	3	59	23	2	29	5	7	3	1	8	33	201
2021年	64	234	26	2	4	64	29	2	43	11	28	3	1	9	44	266
2022年	73	254	25	3	9	88	37	2	49	11	39	3	1	10	44	321
2023年	80	280	25	3	10	93	43	2	38	13	38	その他に含む	1	10	65	341
2024年	86		28	4	11	95	53	2	54	13	44	3	1	10	53	371



## MCS（メディカルケアステーション）

※職業重複あり

在宅医療・介護を受ける方々の、かかりつけ医や看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパー、その他職種がインターネットを使って、スムーズな連携・情報共有を行います。

地域関係職種の連携・情報共有のための重要ツールとなっています。

**投稿累計数は全国1位です**

## 2) 多職種がおたがいの役割について理解ができている

### リハ役職者ミーティング

R6年7月4日開催

交流会チームと医療・介護の連携チーム・リハ職と連携協力し、「リハ役職者ミーティング」を開催しました  
医療機関 6 介護関係機関 8 総数27名の参加がありました

#### 目的

リハ職の繋がりを強くしたい  
リハ職間の顔の見える関係性作り

#### 2) 多職種がおたがいの役割について理解ができている

- ①講話:「いちき串木野市におけるリハ職のこれまでの地域活動とこれからの期待すること」  
説明者:長寿介護課保健師 中袴田洋絵  
いちき串木野市の介護予防事業:市の概況  
ころばん体操ついてリハ職との地域活動の歩みや成果、今後の展望などについて

- ②グループワーク:(テーマ)  
今いちき串木野市の医療、介護に必要な事...  
それについて行動できる ...を考える



高齢者が容易に通える範囲に”通いの場“を住民主体で展開する、前期、後期高齢者の閉じこもり等何らかの支援を要する者の参加を促すことなどをコンセプトに平成27年4月から「ころばん体操」を地域公民館単位での立ち上げとして進めてきています。地域のリハ職も協力し立ち上げ当時から公民館へ訪問し運動指導、体力測定に携わり、お世話役さん方との交流会、運動やリハビリに関する講話等を行っています。

# リハ役職者ミーティング グループワーク

今、いちき串木野市の医療・介護に必要な事  
それについて行動できる事

他病院や施設の  
スタッフが繋がっ  
て患者さんの情報  
共有が出来ている  
と患者さんも安心  
できると思う。  
多病院単位でPT・  
OT・STが参加でき  
る研修会を行うこ  
とで顔の見える関  
係性作りをしてい  
く。新人も興味を  
持てるようなテー  
マ  
など考えたい



患者が高齢化してきている、自宅に帰り  
たいと希望する人が退院後帰れない  
ケースも多くなってきている印象がある  
自分達も医療や介護の専門知識が求め  
られる、地域の専門分野の人達の勉強  
会を開催していく。  
在宅に帰すために、他病院が多職種と  
の連携をどうしているか情報共有を出来  
たらいい。

人材不足の為、患  
者さん利用者さん  
に充てる時間が少  
ない、人材を確保  
する取り組み、業務  
のスリム化等、他  
の所がどのような  
業務を行っている  
のか、他事業所の  
見学をすることで  
ヒントが掴めるの  
ではないか...

現状として、リハ職の皆が地域の人と交  
流する場がない、地域の人と交流する場  
を作るためには、まずリハ職の個々が繋  
がる必要がある。そのためにはリハ職の  
交流会を開催する必要がある。

「ラウンド1」ならぬ「リハビリ1」を作るために、情報収集や研修会をし  
て多職種連携、顔を広げ、一歩踏み出す人を増やす。(ラウンド1みた  
いな食事、カフェ、カラオケ、運動、タブレット教室等例として色々でき  
る施設をイメージしていて、そういう場所を提供して、参加者が自由に  
選んでやってもらう、様な...)自分たちが作る訳ではないが、出来る人  
やれる人と繋がって現実化出来たらいい。

# 看護管理者交流会

R6年9月13日 開催

脳神経外科センター 会議室

地域医療機関10・訪問看護ステーション4 参加総数33名

## グループワーク テーマ

横の繋がりを作る為に必要なこと  
そのために、何が出来るか…

- ・外部との連携状況、連携室の設置が無い医療機関での連携状況や退院支援連携、退院カンファへの参加連絡などの担当看護師の状況
- ・MCSを利用して連携を図っている現状
- ・他医療機関、介護事業所、施設との連携の現状
- ・在宅退院における訪問看護師との連携
- ・外来看護師とケアマネ、包括支援センターとの連携の役割
- ・病院内、連携について困り事

## 看護管理者懇親会

吹上浜フィールドホテル

R7,1月18日開催

参加数14名



## 2月開催のACP研修会を踏まえACPIについて考えてもらう、意識を持ってもらう

病院でのACPの取り組みについて考える・現状における対応や取り組んでいることなど共有する

顔と顔を繋ぐ、話しやすい関係性を築き、スムーズな連携を図る

飲食をしながら、ざっくばらんな話をしながら親睦を深める。

医療の現場の状況を共有し、工夫している事など、関係性を良好に保つことで、医療機関間の連携を深め看護職全体で知識を高め支援に繋げていく

### 3) 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識技術を高める

MCS懇談会 R6年11月12日 参加:会場21名  
ZOOM8名

MCS利用についての説明・情報提供  
説明者:MCS推進チーム 畑中勇二 氏

- ・いちき串木野市運用・利用状況
- ・いちき串木野市独自の活用ルール
- ・MCS活用で出来る事
- ・便利な機能について紹介

#### <アンケートのコメント>

- ◆ ・MCSを使うことで業務の効率化を図る、時間を有効に使える手段が分かって良かった
- ◆ ・AIの活用:会議の出欠確認に利用できる「調整さん」の紹介
- ◆ ・AIを活用することで、自分達だけでなく利用者さん、地域の利益にもつながる意識を持てる人が増えるといいと思う
- ◆ ・普段聞けない事:チャットツールなどの話が聞けて良かった
- ◆ ・議事録作成など、便利なAIの使い方が分かった
- ◆ ・実際の現場で実用的に活用できる便利ツールの案内、レクチャー研修など自分たちにとって便利は方法やツールの紹介スレッドなどあればいいと思った
- ◆ ・MCSの利用について地域全体で1~2回このような会を完済してもいいのでは・・と思った



# BCP研修会

R6.11月22日開催 アクアホール多目的室

## 感染対策×ゲーミフィケーションプレ体験会 未知のウィルスにあなたの施設はどう立ち向かう？ 「感染クラスター8」をチームで体験しませんか

参加総数 63名 地域医療・介護関係職種

### 講演：感染対策～「感染クラスター8」について

講師：一般社団法人 KISA2隊 本部本部理事 鈴木 安奈 氏  
本部事務局 看護師 野田 美里 氏  
大阪事務局 介護支援専門員 堀江 千年 氏

- ・BCPについて、特に感染症対策に焦点を当て、全般にわたる基本的な知識や対応策を学ぶ
- ・感染症対策やクラスター対応についてシュミレーションやゲームを通じて学ぶことにより、介護事業所等で義務化されている机上訓練の一環として活用する研修内容とする

- ・純粋に楽しみながら、感染対策が学べ対策の流れが勉強になりました
- ・初めましての方とも、楽しく真剣に考えることができ勉強できたことが嬉しかったし、学びに繋がりました。
- ・疑似体験ではありましたが、これを何回もする事で、いざという時の為になるように思いました。
- ・感染した時に何をしたら良いかをある程度把握できた。多職種と意見交換できて復習にも繋がった
- ・色々な職種の目線で考えられた
- ・対策の流れが勉強になりました
- ・いろんな職種の立場での意見あった事



# 口腔ケア研修会 R6・12月13日開催

脳神経外科センター 会議室

**講演:** 1「摂食嚥下について知ってほしいこと」

講師: 脳神経外科センター 言語聴覚士 尾崎幸平 先生

2「歯科、口腔について知ってほしいこと」

講師: えとう歯科院長 江藤克己 先生

ひっかけん体操DVD配布

参加数81名(医療機関7 歯科1 介護機関16 行政)

- ・通所では、食事介助はあまりないですが、食事の姿勢・口腔体操・口腔ケアの大切さが改めて分かり、おいしく食事が出るよう支援していきたいです。
- ・拒否がある方や嘔吐反射のある方のMCのコツが分かり、よかったです。
- ・誤嚥性肺炎を起こさないために日頃の予防をしっかりとしたいと思います。
- ・口腔内乾燥に注意してみたいと思った。保湿の大切さを伝えていきたい
- ・不顕性誤嚥、誤嚥性肺炎を予防するためにも口腔ケアや嚥下リハビリテーションの大切さが理解できました。環境調整でも色々な工夫ができること、食事を口から摂らない人こそ口腔ケアが大事であること、具体的な口腔ケアの方法など、とても学びになりました。
- ・口腔ケアで防げる誤嚥性肺炎の割合 口腔ケアへの意識付け  
嚥下が低下している方や嚥下障害のある方に使いやすい食材や補助食品いろいろあるので、お勧めを知りたい。
- ・栄養の偏りが強い方もいます。バランスよく食べる支援も聞いてみたい
- ・現場の栄養士、管理栄養士から施設や病院での栄養管理、指導などを学びたい



# ACP研修会

R7 2月21日開催 ホテルアクシアくしきの みさきの間

ACPチラシの紹介と活用についての説明

人生会議について疑似体験をしてみる。体験を通してACPの伝え方や大切さみんなで共有する

参加総数 91名(医師1 看護師39 リハ職7 SW社会福祉士5 ケアマネ18 介護職7 その他2)

- ・ご家族に向けてACPIについて説明を取り組み始めた段階です、今後いざという時の意向を確認してその方に合った方法を検討して行きたいと思う
- ・取り組み頻度は少ないが、利用者の目標やこれからの希望をお聞きする際に使用している
- ・有意義な研修だった、職場に持ち帰り、周知しながら実践していけたらと思う
- ・患者さんへの声掛け、表出が学べた、自分の事、家族の事を考える機会が出来た
- ・チラシの存在は知っていて目にしていたが、導入のやり方がわからなかった、モニタリング形式で実際の流れを観て、自分たちが体験することで少しつかめた気がします
- ・施設での取り組みを始めて説明の難しさなど直面している所だった、シュミレーションはとても勉強になった、何度も話し合う機会を作っていくことを伝えて安心して一緒に考えてもらいたいと思う
- ・ACPの言葉は聞いていたけど、考えはしなかったなと思った模擬体験でお互いに質問し合ったことで、少しは自分がどうして行きたいのか、かんがえることができた



# 令和6年度 いちき串木野市医師会 在宅医療・介護連携推進事業実施 年間スケジュール表(予定)

事業内容		回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡協議会		2回					8/23 連絡協議会							連絡協議会
推進	グループミーティング ①歯・口腔ケア食のサポート ②看護管理者の集まり ③MCS ④交流会	3回以上			6/28 ④、⑤チーム 交流会打合せ	7/9 ①チーム ミーティング	8/13 ③チーム ミーティング	9/13看護管 理者 交流会		口腔ケア 研修会				
	チーム会 ⑤医療機関・介護関係機関の連携 ⑥いちき串木野市のACP ⑦おうちに帰ろう班						7/16 ②チーム ミーティング		9/3 ①チーム ミーティング		MCS懇談会			
	リーダーミーティング	適宜			6/6チーム リーダー ミーティング									
保健医療圏域医療・介護連携 推進事業連絡会														在宅医療介護 連携研修会
人材育成のための研修		3回以上				7/4交流会 リハ役職者 ミーティング								
地域支援事業				地域ケ会議	地域ケ会議			地域ケ会議					地域ケ会議	
			認知症家族 の会(かたい もんそ会)		認知症家族の 会(かたいも んそ会)			認知症家族の 会(かたいも んそ会)		認知症家族の 会(かたいもん そ会)		認知症家族の 会(かたいも んそ会)		認知症家族の 会(かたいも んそ会)
住民向け普及啓発		1回以上			地域公民館 出前講座	地域公民館 出前講座	地域公民館 出前講座			地域公民館 出前講座				
地域支援活動		月毎	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議	リハコア会議
MCS活用・啓発														
パンフレット作成・配布														
在宅医療(ACPIについ ての話)				出前講座										

## 4) 地域住民が在宅医療の事を知る

〈在宅医療・訪問看護の事を知ってもらう〉

- 地域包括ケアシステムについて
- 在宅医療・介護についての支援状況や医療・介護資源の紹介
- **訪問看護について (R2年度から講話を行っている)**

訪問看護の利用により在宅での療養や看取りが出来ることを知ってもらう  
(訪問看護師による現場の話が在宅での生活を具体的にイメージ出来る)



今年度、6月出前講座にてACPについて考えてもらう:  
チラシ内容の流れに沿って自分にとって大切なもの、どう過ごしたいかについて考えてもらう  
今年度、6月出前講座にてACPについて考えてもらう:  
チラシ内容の流れに沿って自分にとって大切なもの、どう過ごしたいかについて考えてもらう

いちき串木野市の在宅医療について地域の人に知ってもらう  
「自分たちが希望する医療・介護を選択して、望む生活を出来るだけ続けることが出来る」ことを知ってもらう。  
令和6年度は、「ACP」のチラシを基に自分の最期の時間をどう過ごしたいか、大事している事、伝えてい人などを考えるもらうことをテーマにした講話を予定していく

# 令和6年度の取り組みまとめ

- 推進チームとしてリーダーミーティングの実施、特に各チームのミーティングが積極的に実施され、計画沿った取り組みを進めている
- 顔も見える関係性の構築、連携促進に向けた交流会としてリハ役職者ミーティング・看護師交流会を開催し、意見交換・情報共有を図っている。
- 歯科・口腔ケア・栄養に重点を置いた取り組みとして12月に、摂食嚥下、口腔ケアの研修会を実施した。
- その他医療、介護職の知識向上を目的としてBCP研修会・ACP研修会と開催し理解を深めている。
- MCS活用拡大に向けた取り組みとして11月にMCS懇談会を開催し、利用について紹介、活用についての情報提供を行った
- 地域住民への広報としてACPチラシを基にした講話、実際に話す体験等を通して大事な人に自分の想いを伝えておくことの重要性を伝えている。



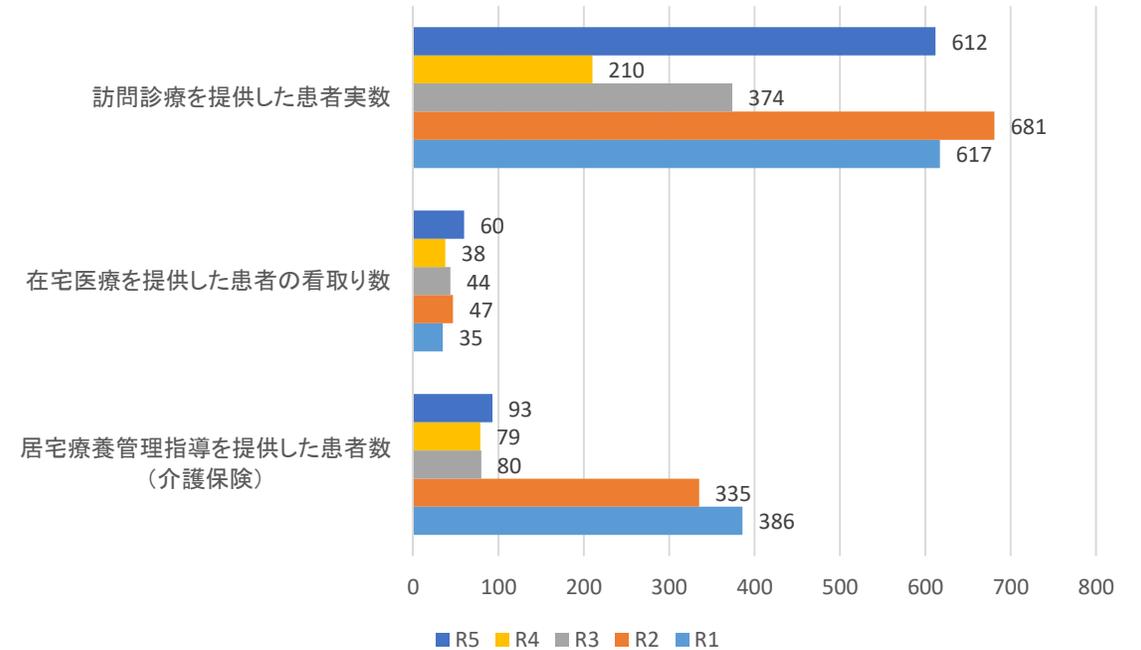
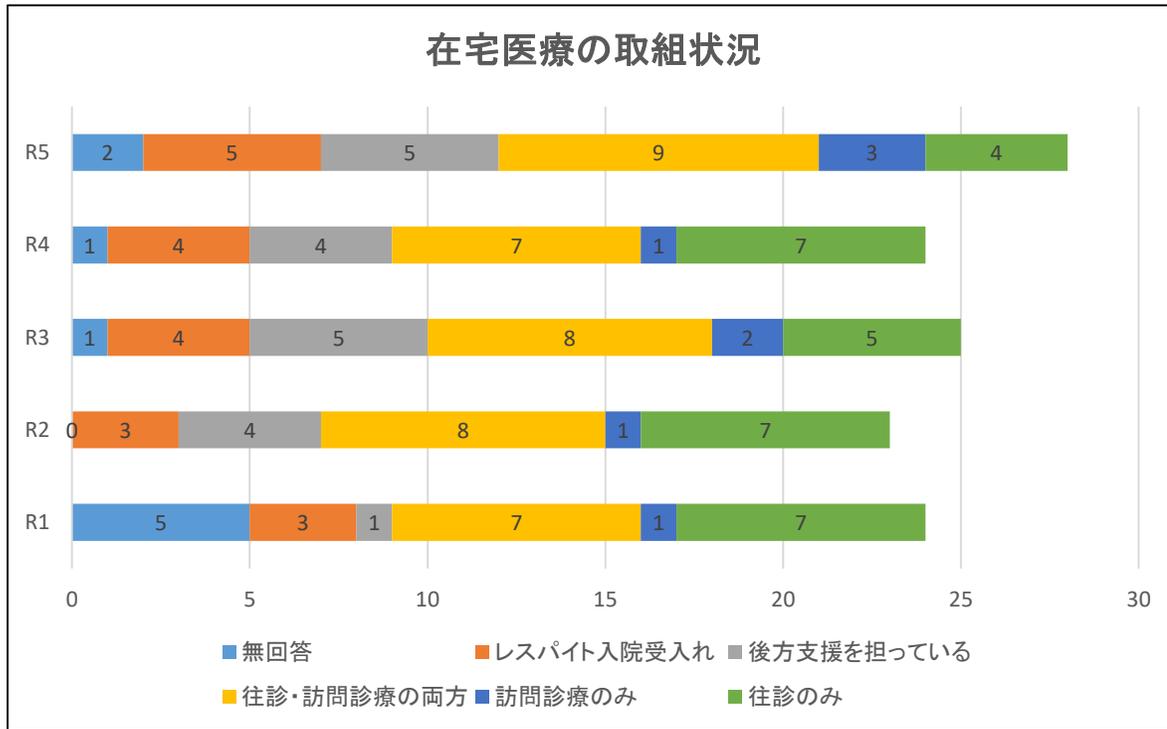
ご協力よろしく  
よろしくお願ひいたします



# ＜令和6年度在宅医療提供状況調査結果＞

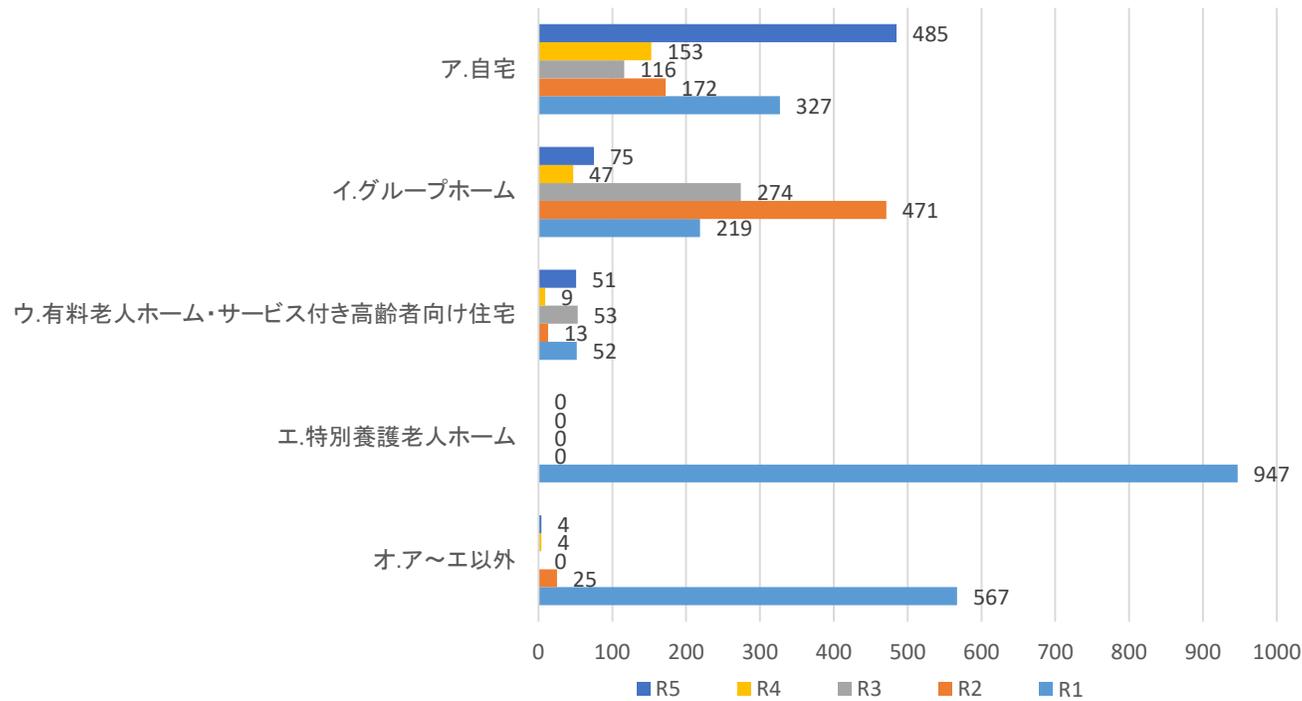
調査実施：令和6年6月 調査期間2023/4/1～2024/3/31

＜医療機関における在宅医療の提供状況＞ 配布数28件 回答数24件：回答率 85.7%

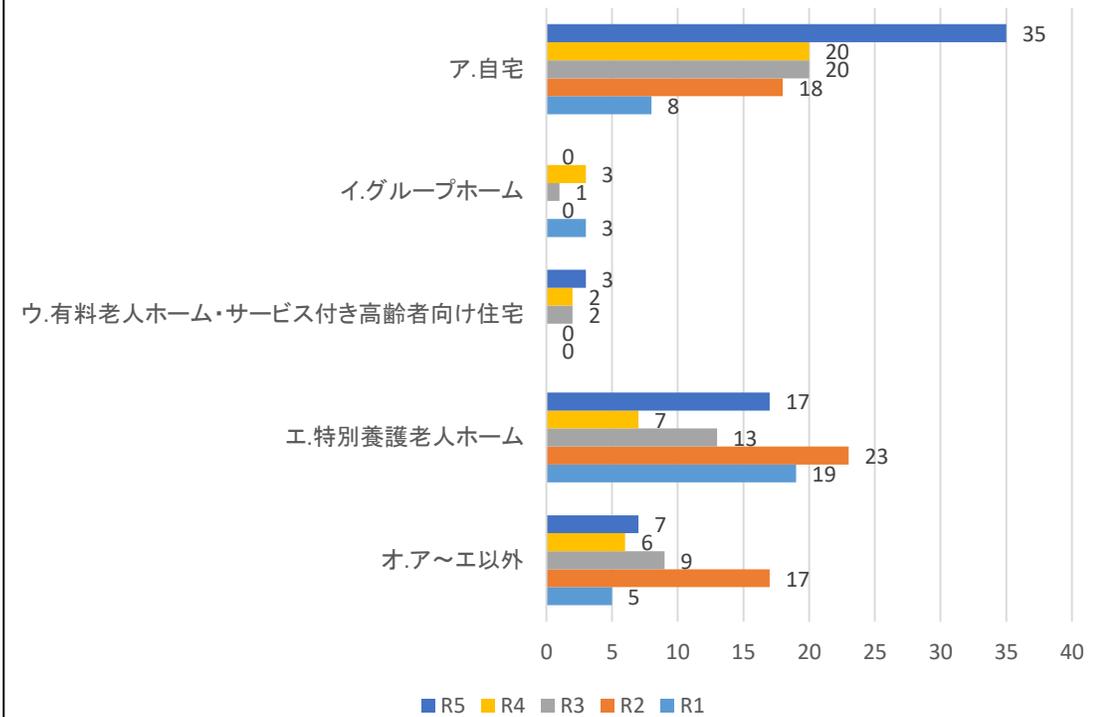


在宅医療の取り組み状況として、往診・訪問診療対応医療機関が増えている。訪問診療対応可の医療機関増数も見られる  
 昨年と比較して、在宅医療、在宅看取り患者の増数も見られる

訪問診療を提供した患者数



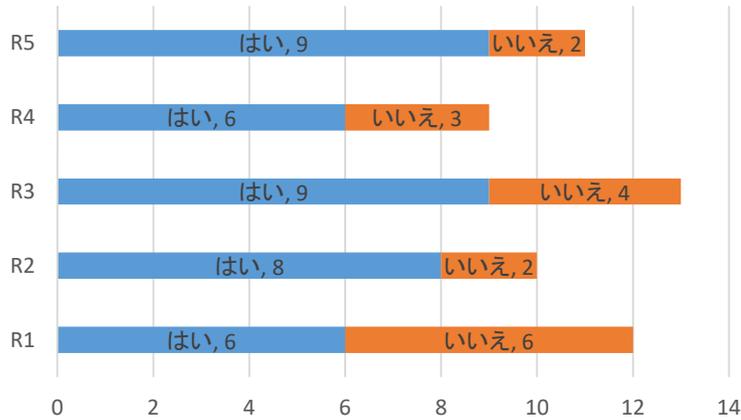
在宅医療を提供した患者の看取り数



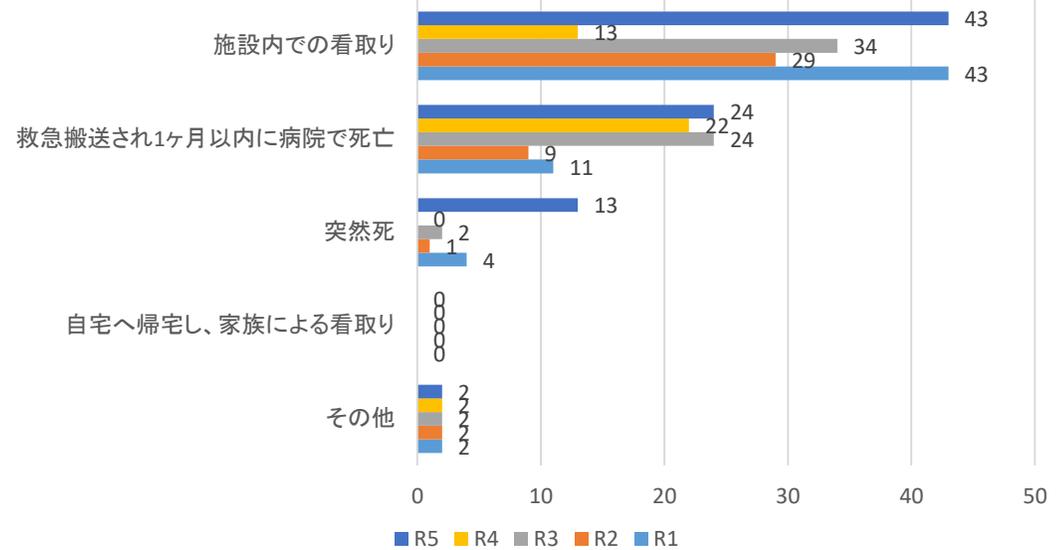
在宅での看取り、特別養護老人ホームでの看取り患者の増数が見られる。  
 オ. のその他での看取りでは、ケアハウス1件、医療機関1件の記入があった(その他無記入)

# <介護施設における在宅医療の提供状況について> R6年度 回答件数13 (施設数21) 61.9%

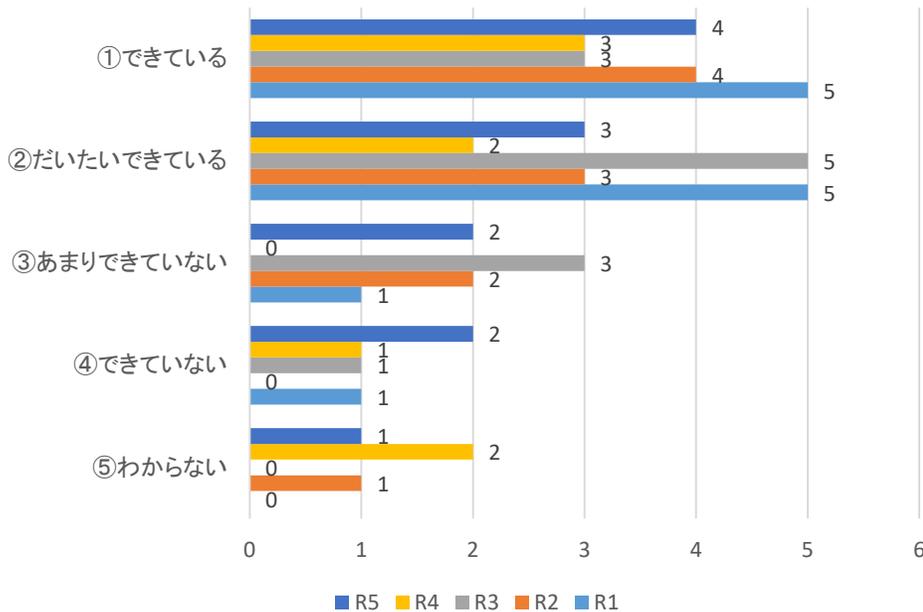
本人の希望に応じて看取りができますか



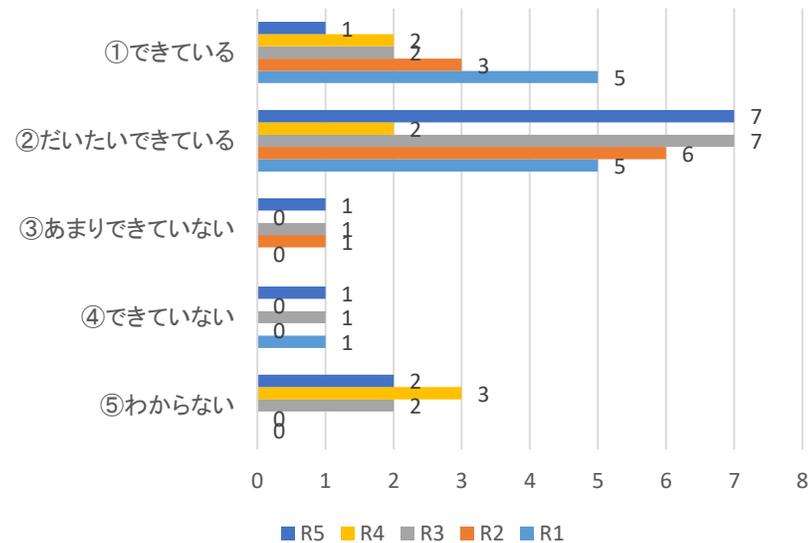
一年間の死亡者数



看取りについて、医師との連携はスムーズにできているか？



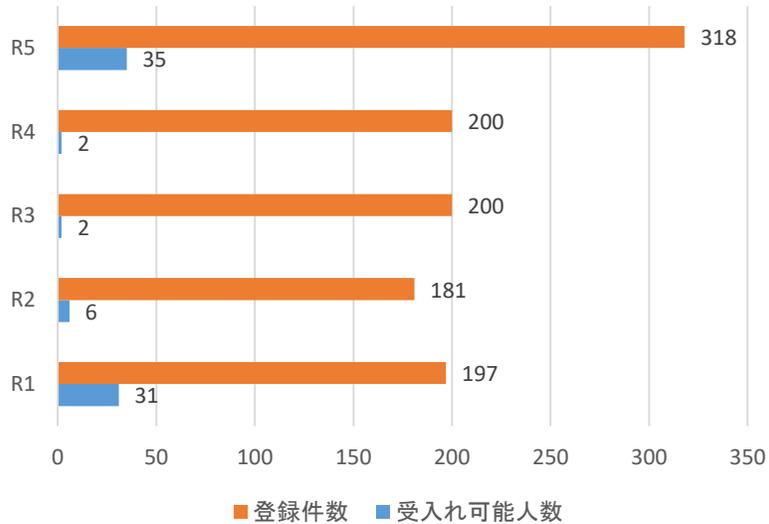
看取りについて、利用者家族との連携はスムーズか



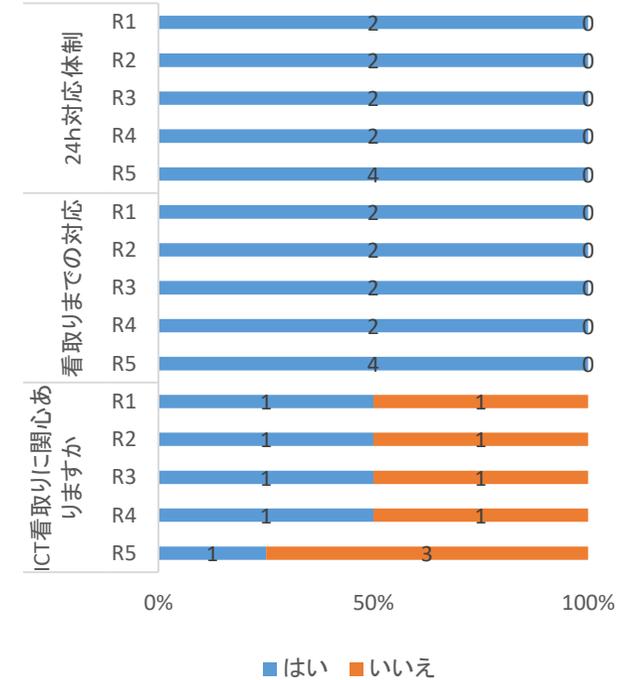
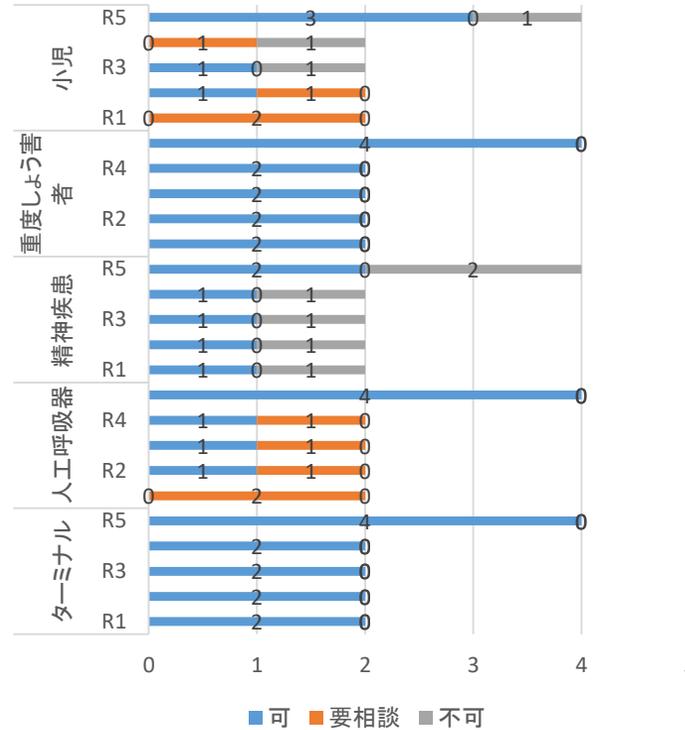
令和5年度施設内での看取り数は増えている  
看取りについての医師との連携、家族との連携については大体できている回答が多くなっている

〈訪問看護における在宅医療の提供状況について〉 訪問看護ステーション4件 回答4件 100%

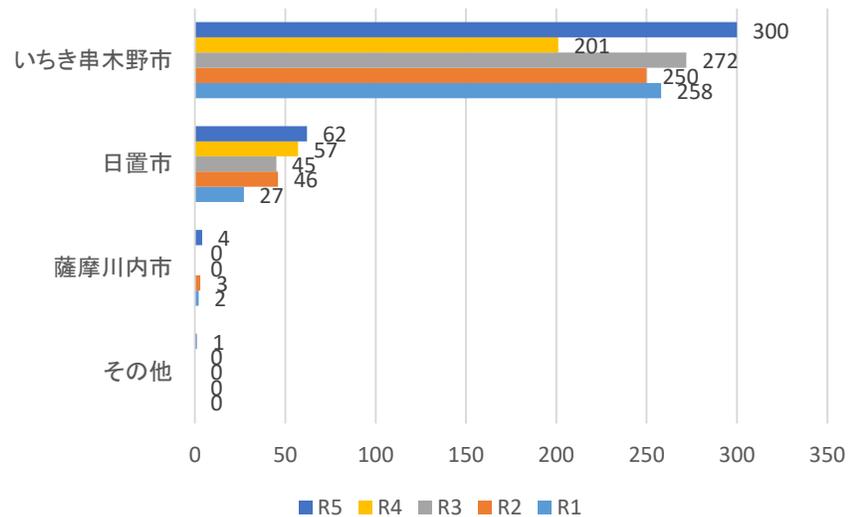
訪問看護提供状況



患者の受け入れ可否



訪問地域別、訪問看護の提供状況

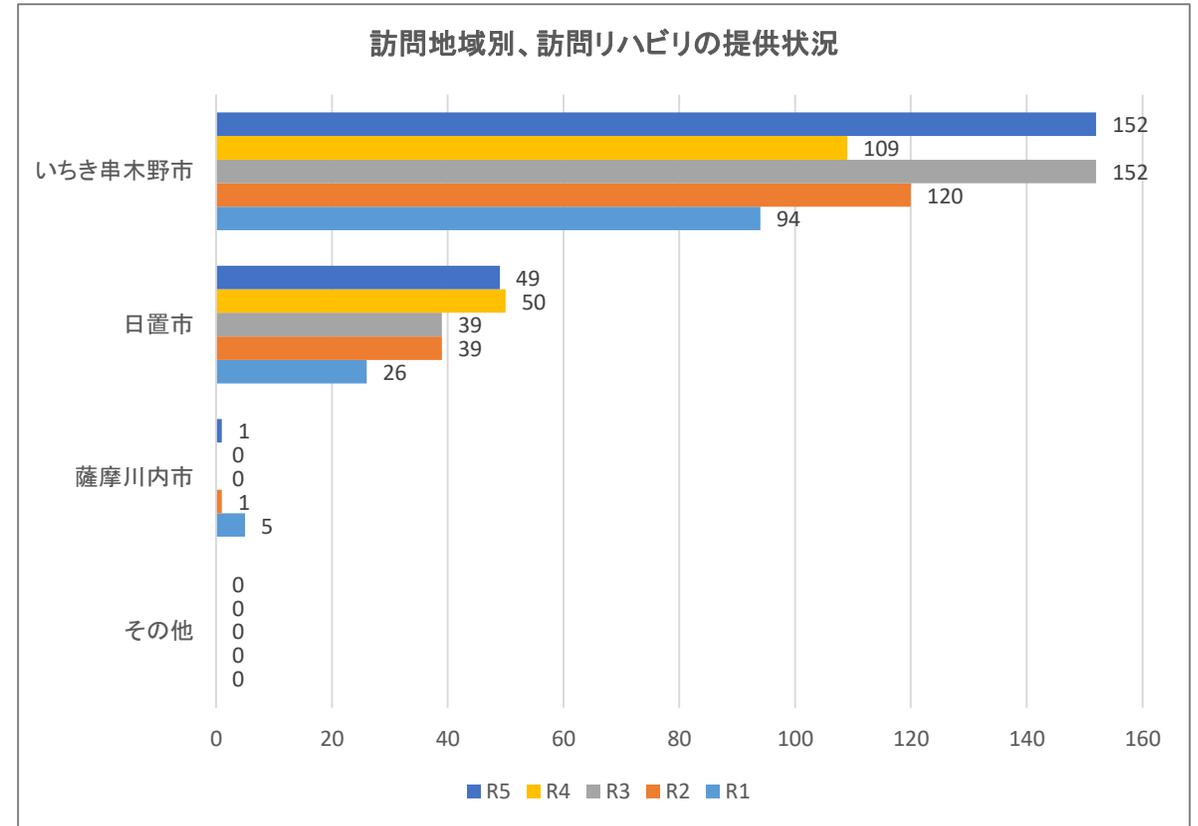
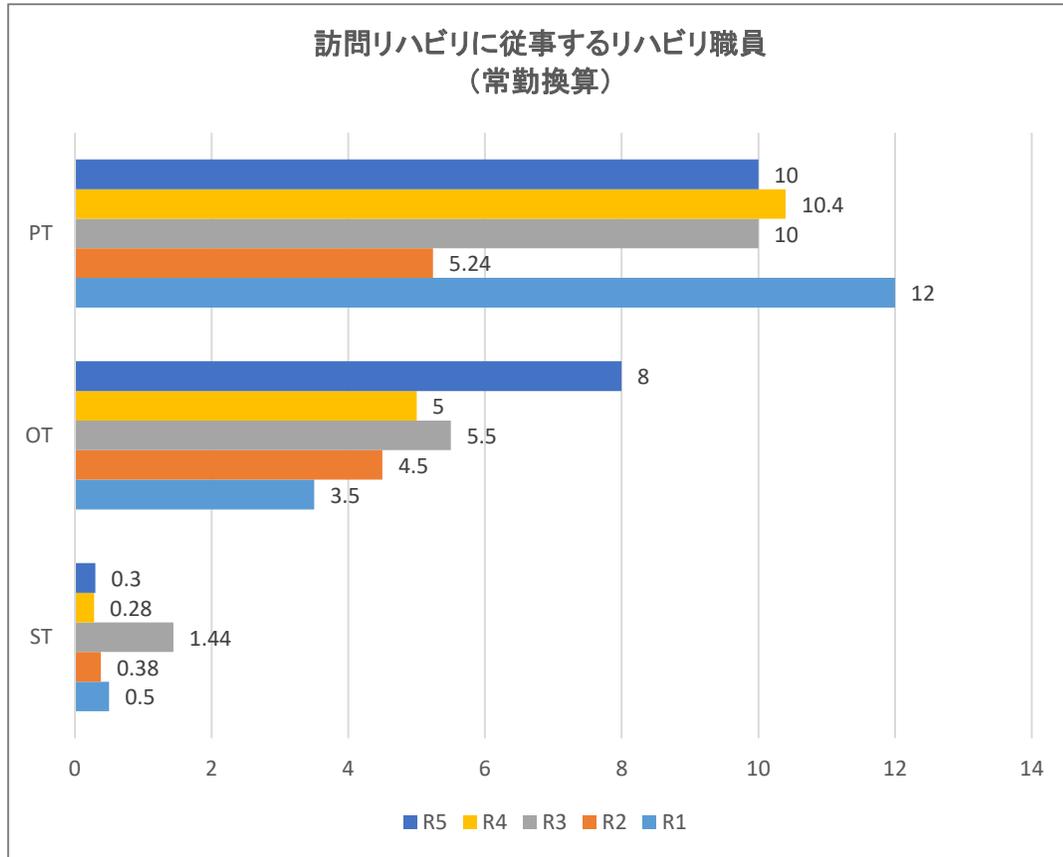


訪問看護ステーション昨年2か所増となっており、訪問看護の提供件数は増加傾向にある  
 提供状況は市内だけでなく近隣市からの依頼も増えてきている状況である  
 看取り対応や24時間対応、在宅看取りについては4事業所共に対応している状況である

# <訪問リハにおける在宅医療提供状況>

R6年度 回答数7件（訪問リハビリ数9件）

77.8%

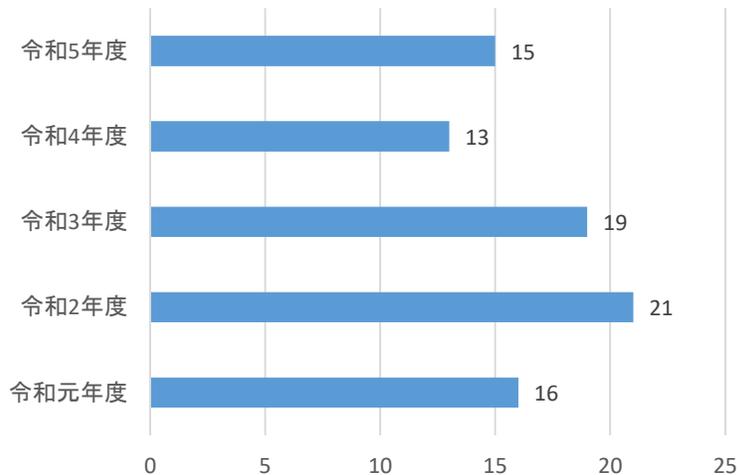


令和5年度において作業療法士数の増員が見られている  
 言語聴覚士においては、理学療法士、作業療法士従事数割合と比較して低い状況となっている  
 訪問地域ではいちき串木野市の提供数は昨年より増数となっている

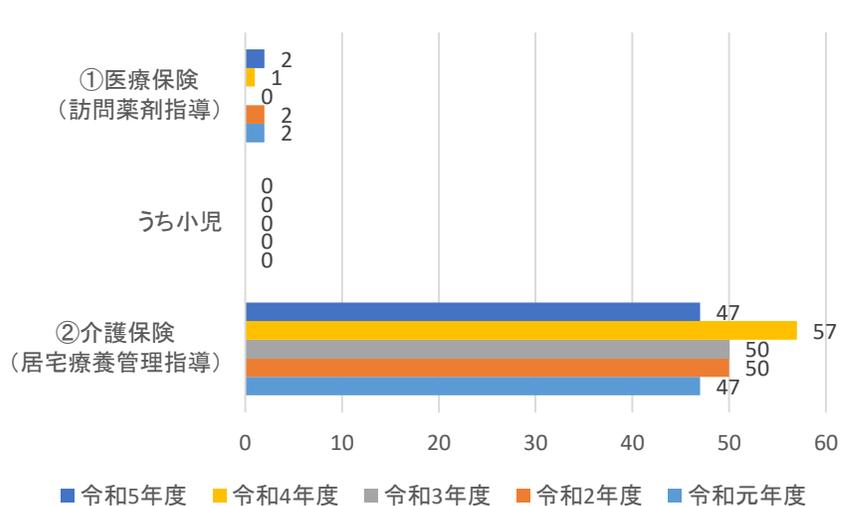
# <調剤薬局における在宅医療提供状況>

R6年度 回答件数 13件(調剤薬局数17) 回答率76.5%

### 訪問薬剤指導に従事する薬剤師数

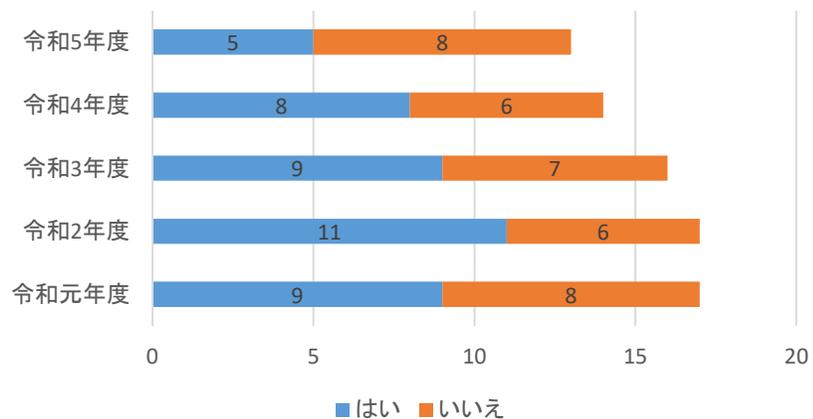


### 訪問薬剤指導を提供した患者数

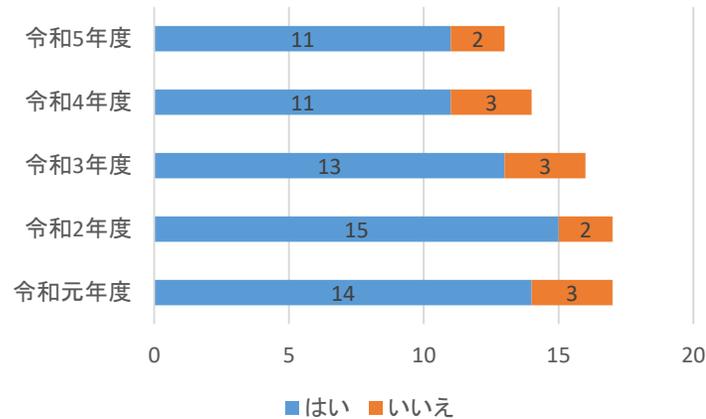


訪問薬剤指導に従事する薬剤師数は昨年より増えている  
 訪問薬剤指導の提供状況として介護保険を重点にほぼ横ばいの提供数となっている

### 小児患者への訪問薬剤指導の提供は可能ですか



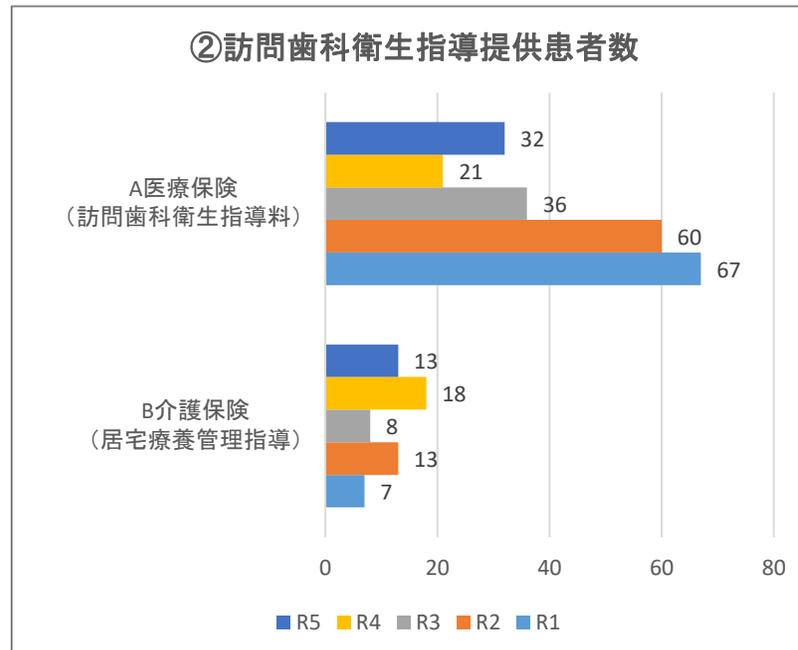
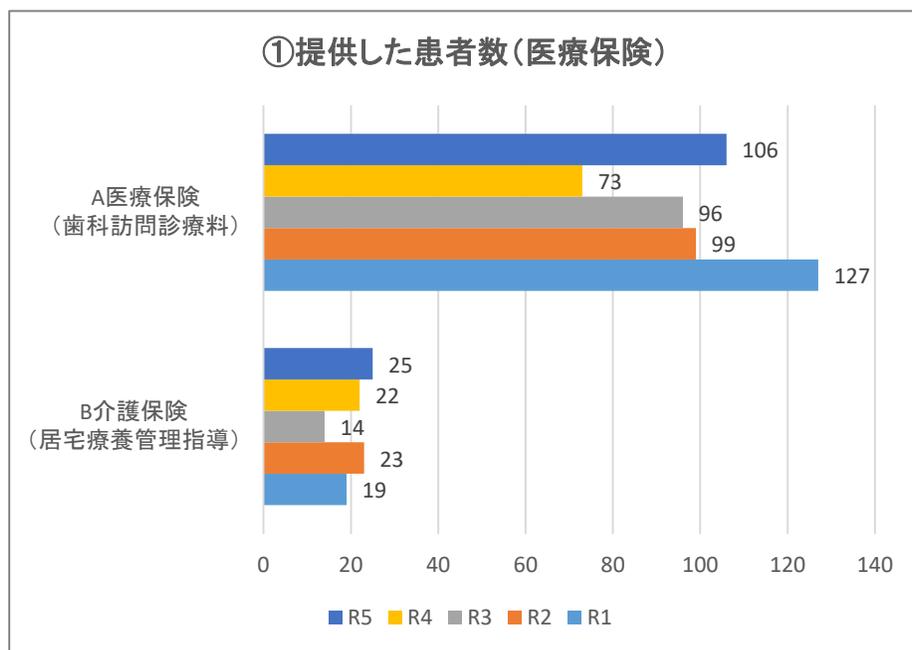
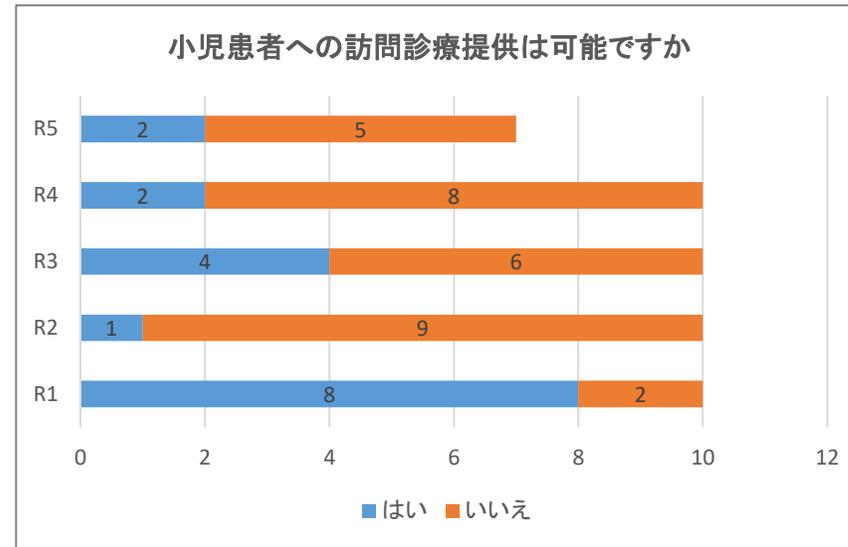
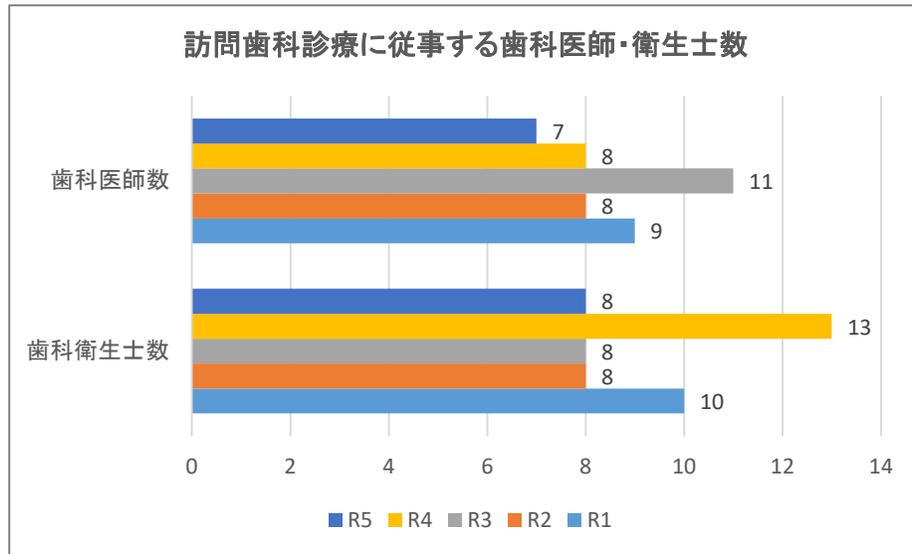
### 麻薬小売り業免許を取得していますか



<歯科医院における在宅医療提供状況>

R6年度回答数8件（歯科医院数13）

回答率：61.5%



訪問歯科診療に従事する医師数として前年度とほぼ変わらない数である。歯科衛生士さんの数は昨年度から減少している  
 医療保険の指導料提供数の増数が見られている  
 居宅療養管理指導数について昨年より若干の減がみられている

# 在宅医療提供状況調査についての考察

- ・市内医療機関件数は限られているが今年度、往診、訪問診療対応医療機関の増数が見られたそれに伴い在宅看取り件数も増えている結果となっている。また特別養護老人ホームでの看取りも増えている。
- ・介護施設においては、昨年度施設内での看取り件数は増えている  
看取りについての医師との連携、家族との連携については大体できているの回答が多くなっている  
ここ2～3年家族面会の制限等もあり看取りについての話合いや連携、また後方病院等との連携が難しい状況は、やや緩和されてきた印象もある
- ・訪問看護ステーションは4事業所となり、在宅看取り対応、件数も増えている。提供件数も増数している、訪問リハビリも含め、いちき串木野市、近隣市も含めての今後も需要が増えてくるのではと予測される。
- ・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士の訪問指導について、高齢化が進むことにより今後、介護保険での訪問指導は増えてくるのではと推測される。
- ・在宅医療、介護、在宅看取りに関して訪問による医療、介護資源は今後さらに重要不可欠であると思われる多職種との連携を図り需要に応じた体制構築がされるよう進めて行くことが必要と考える。

# 歯・口腔ケア・食のサポートチームミーティング R6年7月9日実施

**大目標:**地域のより良い口腔・食について考える

**今年度の目標**①口腔・食についての研修会の実施

②口腔・食のチーム内外で顔の見えるチーム作りを行う

\* チーム員の交代や新たに栄養士、歯科医師も参加して頂き活動を進めています

## <研修会開催に向けての協議>

・今年度、花牟禮病院で多職種連携による口腔ケア体制整備事業に取り組むとの事で、推進チームと連携協力して研修会等を開催出来たらとの協力依頼を受け、看護師長の田畑さんがチーム参加し、活動を進めていく事としている

・介護予防事業と協力し、高齢者に向けた「ひっかけん体操」を地域に広げるためDVD作成を進めている、口腔ケア、嚥下、栄養についての研修会を行っていく中でDVD配布や嚥下体操説明も併せて実施していく

・研修のテーマについて

お口のチェックシートに沿った内容や活用法に繋がるような研修

嚥下・口腔ケア・の機能的な事を含めた講話内容にするのか...

栄養や食形態、誤嚥性肺炎を防ぐ内容

デイケアスタッフ対象と考えた場合、ケアの目的、ポイント、要介護者の

食形態、加えて嚥下体操の紹介など

・研修時期:11月を予定として準備を進めて行く



# 看護管理者の集まりチームミーティング

R6年7月16日開催

## <今年度の取り組み計画について>

### ◎今年度も交流会、研修会を中心に活動を進める

- ・他推進グループで多職種との研修会を進めて行く予定を聞いているので、本チームとしては主な対象を看護職中心にした集まりを計画していく
- ・地域医療機関全体で顔の見える関係性を築いて、気軽に困りごとを共有して連携協力できる体制が出来て行けばいいと思う
- ・今まで、交流会、研修会の参加がない医療機関やMCSで繋がっていない所など、師長さんや誰が窓口なのか...連携をどうしていいか困っている。
- ・看護職の成長モデルは頭に入れておく、必要がある。それを踏まえ段階的に交流会を重ねて行けばいいのではないかな...

## <今後のスケジュール>

- ・第1回の交流会 9月13日に開催予定とする
- ・テーマ:「横の繋がりを作っていく為に自分たちに何が出来るか」  
看護師長並びにその役割を担う者・主任クラスを対象としたグループワークを中心にした交流会



# ACPチーム チラシ配布並びに広報活動

地域の人や医療、介護スタッフに向けたACP(アドバンスケアプランニング)チラシを作成  
 地域の人理解しやすい、イメージしやすい、知ってもらう  
 人生の最期について考えてみようと思ってもらう  
 ケアマネがチラシを使って利用者さんに説明できるような内容を掲載

## 広報と配布

- ・R6, 5月17日ケアマネ協議会で、チラシの活用について説明を行った(ACPチーム員のチラシ活用の講話)
- ・利用者の訪問時、チラシを使って今後の生活や最期の時に受けたい医療などについての話の際に活用してもらう
- ・今年度、6月出前講座にてACPについて考えてもらう: チラシ内容の流れに沿って自分にとって大切なもの、どう過ごしたいかについて考えてもらう
- ・8月22日認知症の集いの会に参加  
 ACPチーム員でACPについて(チラシ活用)講話を行う

**質問** あなたにとって大切なことはどんなことですか？もし生きる時間が限られているとしたら

おたしが大事なものはこれこれ

あなたがどう思うか？

①あなたも以下の中から選んでチェックしてみてください(複数回答可)

②そう思う理由も書いてみてください

**事実** いざ「そのとき」がきたら考えられないかも  
**実際70%の人は望みを伝えられていない**  
 命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

**だから今**  
 信頼できる人は誰か考えてみましょう。

そうか！いざという時に代弁してくれるような、自分のことをわかってくれる“味方”を作っておくことが大事じゃね！

信頼できる人は人それぞれ、あなたにとっての信頼できる人は誰なのかを考えてみましょう。

話し合いましょう  
 大切なこと、医療やケア、暮らしについて

家族と  
 かかりつけ医や看護士と  
 親しい友人と

よか機会じゃ！これは安心できるね  
 息子や娘にも話しておこう

このようにことを「人生会議」ACP(アドバンスケアプランニング)と呼びます。

例えばこんな「もしものとき」どうしたいですか？

**医療** 口から食べられなくなったとしたら胃ろう(胃に穴を開けて栄養を送る)をしますか？

**暮らし** 寝たきりの状態になったとしたらどこで過ごしたいですか？認知症になったらどうしたいですか？

もう少し看護士さんと話さないか決まれないかな  
 食べられなくなっても、元気になる方法があるのかな

できたら家にいたいけど病と一緒に過ごしたいけど息子や娘はどう思っているのかな

気持ちは変わるものです。だから何度も繰り返し話し合いましょう。そのときのあなたの思いを伝えておくことが大切です。

あなたが大切なことは何か考えてみましょう

あなたが信頼できる代弁者は誰でしょう

話し合いの結果を伝えて共有しましょう

代弁者や周りの人と話し合いましょう

— いちも 大野 出 在宅医療・介護連携推進事業 ACP 近 —

# MCSチームミーティング

R6・8月・13日開催

今年度の活動について話し合いを行っています。  
今後のMCS利用促進について現在の活用状況を踏まえ  
・どのような取り組みが必要か、求められることは何か・・・  
・自分たちがどんな事に取り組みたいか・・・  
などについて意見を出し合い、プランを練り進めています

- ・コロナ過もあり、集まる機会も減っていた現状があり、情報共有が出来ていない、MCSの利用についてどのような声があるのか、それぞれの施設や事業所でどのような形で活用されているのか教えてもらう機会もあったらいいのでは・・・
- ・MCS登録者は徐々に増えてきているが、実際の活用状況としてログイン数は7割ほど投稿数は5割弱といった状況である。(日常的に活用している人、ほとんど見ていない人など、既読マークがない状況では、見ているかが不明瞭・・・)
- ・MCSを見て既読マークを付ける人を増やしていく事も必要

MCS利用促進に向けた懇談会開催を11月に予定  
医療・介護連携チーム・交流会チームと連携し進めて行く  
利用者からの活用について紹介してもらう  
便利な活用法についての情報提供・活用についての意見交換など、テーマについて  
チームで協議し進めて行く



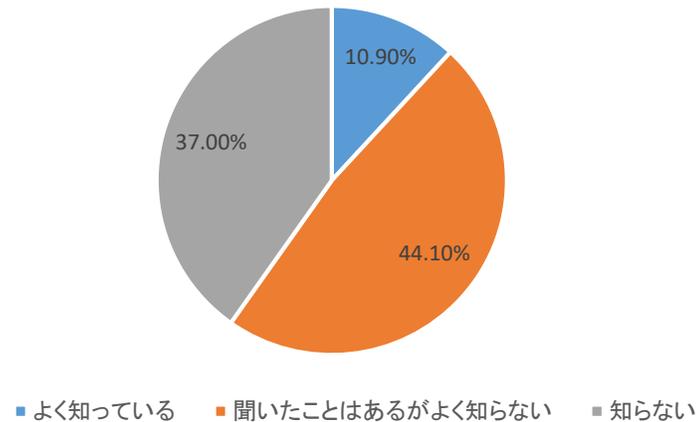
# 第9期介護保険事業計画の高齢者調査

## ACP:アドバンスケアプランニングについて

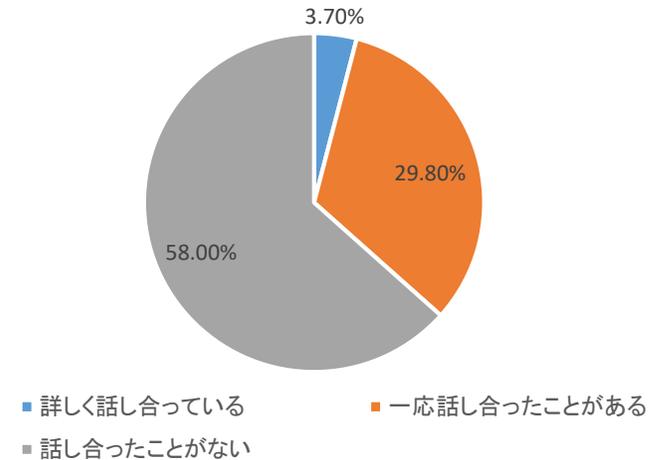
あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング)について、どのくらい知っていますか？

あなたは、ご自身の死が近い場合に受たい医療や療養や受けたくない医療や療養についてご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。

ACPの認知度について



ACPの話し合いについて



## 「コロナ過における退院支援」

参加医療機関5施設 MSW9名



家族の面会方法・介護訪問調査・家屋訪問・退院前の外泊外出など各病院での現状など・・・  
退院後の住宅環境調整の準備  
連携業務等での困りごと、多職種に聞いてみたい事などについて自由な形で意見交換や懇談を行った。

医療相談員の現状や思いなど多く聴かせていただき、話も盛り上がりました。とても有意義な機会となりました。次回交流会に向けた意見として、地域内外の訪問看護師、ケアマネ、との交流の要望もありました。

## 訪問看護師・介護支援専門員交流会開催 (R5年6月13日)

訪問看護師 5名 居宅ケアマネ 10名 包括支援センター 3名

### 交流会テーマ

「よかったことを話してみよう」

- ・「ケアマネさん訪看さんがタッグを組めば最強だなあ」と思いました。
- ・よく顔を見る人達が更にグッと身近になった気がしました
- ・皆、気心の知れたメンバーで信頼関係もあるので色々な話が聞けて良かった
- ・「みんな想いは一つだったんだな」と改めて“チーム串木野”がまたひとつ強化できたのでは・・・と思いました



# <令和6年度の取り組みについて>

- 今年度も、連絡協議会を開催し取り組みについての協議を行うと共に推進チームミーティングを随時実施しチーム間の連携を図り多職種の交流会を実施し、顔の見える関係性並びに地域医療、介護の連携を促進し在宅支援につなげる。
- 特に歯・口腔ケア・栄養に重点を置いて推進チーム、並びに口腔ケア体制整備事業と連携し、ひっかけん体操DVDの活用を広げる研修会、広報活動を進めていく
- 取り組みを進めて行く上で引き続き日常療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取りの場面を意識して地域の現状を踏まえ活動計画を立てていく。
- 地域への広報活動としてをACPチラシを基にした出前講座を実施すると共に、ACPチームを中心にACPについての理解、興味を深める取り組みを進める。
- 医療と介護のネットワークツールとして効果的役割を担っているMCSについて更なる登録機関の拡大並びに活用の充実を図るために、MCSチームを中心に取り組みを進める